

# 日々初心

市長コラム・日々初心

市長●穂積 志



2月7日、市と(社)秋田県トラック協会、NPO法人秋田パドラーズは災害時における緊急輸送、ボランティア活動に関する協定を結びました

## 新たな市民社会へ②

### 「気持ち」を「カタチ」にするために

人間誰もが持っている「人と人との関わりの中で生きていく」「人の役に立ちたい」「社会の中で何らかの役割を果たしたい」という気持ち。秘めた思いはあるのですが、日本人というのはどちらかと言えば、こういった気持ちをストレートに表に出すことは不得手だったように思います。

前は伊達直人(タイガーマスク)から届いたランドセルの贈り物の話題から、今後私たちが身を置く社会のありようも変わってきているのではないかと、という話をしました。ランドセルをはじめ、さまざまなかたちや善意が今も全国各地で示されています。人との関わりを求め、社会の中で役割を果たそうとしています。少しずつではありますが、社会全体、あるいは私たちの気持ち自体も地殻変動を起こそうとしているのではないのでしょうか。

一方で、社会システム、制度の改革や変更も始まっています。市民活動促進の観点からは、まずは

平成10年の特定非営利活動促進法(いわゆるNPO法)施行が一つの弾みになりました。これにより、今や福祉、環境、文化、スポーツなど幅広い分野で多くのNPO(民間非営利団体)が活躍していることは周知のとおりです。

また、最近の動きとしてNPO法人などに対する個人の寄付税制の見直しも検討されています。これは、個人でNPO法人などに寄付した場合、所得税や市民税が控除されるなど、個人の寄付を促進しようとするもので、そういった気持ち「カタチ」になりやすくなるためのしかけ作りと言えそうです。

今、秋田市が推し進めようとしているものに「市民協働」があります。一言で言えば、市民と市が協力し合いながらこの秋田市をもっと住みよいまちにしよう、ということなんです。例えば、秋田南高校の裏側にある通称「ぼかぼかオレンジロード」での除草や樹木の枝払い、清掃などは、地域住民と行



「ぼかぼかオレンジロード」は地域の夏祭りの場としても活躍しています

政の適切な役割分担がなされた市民協働の姿と言えるかと思えます。このようなパターンは今後さらに増えていくことでしょう。

例年になく厳しかったこの冬、大雪や寒さに悩まされた市民のことも多かったのではないのでしょうか。でも春はもうそこまで来ている。やがて春の風と光の中で、ピッカピカの一年生がランドセルに新しい教科書を詰めて元気に登校する日も間近です。そして、新たな市民社会の足音も…。

◆秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。

「市長ほっとコーナー」<http://www.city.akita.akita.jp/city/mayor/>

# 受賞おめでとう！



雄和図書館

## 読書感想文

## コンクール



河辺・雄和地域の小・中学生を対象に行った「読書感想文コンクール」で、応募作品91点の中から次のみなさんが入選しました。

### 小学校低学年(1年～3年生)の部

**最優秀賞**▼高澤有希(戸米川小)

**優秀賞**▼佐々木蓮(種平小)、五十嵐蘭(戸米川小)、高橋純菜(河辺小)

**入選**▼加藤真生・鎌田来実・加藤千穂(種平小)、設永伽照(戸米川小)、菅原心愛(河辺小)

### 小学校高学年(4年～6年生)の部

**最優秀賞**▼斉藤莉南(種平小)

**優秀賞**▼佐藤安希(川添小)、安藤千遥・佐藤優(戸米川小)

**入選**▼池田翔(川添小)、石井希理・石井朋美・川口朋哉(戸米川小)、種村凜々子(大正寺小)

### 中学生の部

**最優秀賞**▼齊藤七瀬(雄和中)

**優秀賞**▼種村万亜子(雄和中)

**入選**▼加藤尚輝・斉藤一路(雄和中)

(敬称略)

## 赤れんが郷土館

## 子ども版画コンクール

小学生を対象に行った「子ども年賀状版画コンクール」で、応募作品57点の中から来館者の投票(198票)により、次のみなさんが入賞しました。

応募作品は3月13日(日)まで、赤れんが郷土館新館1階ロビーに展示します。

### 小学1年～3年生の部

**勝平得之賞**

平林真理

(杉並区立西田小)

**佳作**

佐藤さくら(仁井田小)

芝山昂太郎(勝平小)

梅林果琳(広面小)

### 小学4年～6年生の部

**勝平得之賞**

吉松郁

(杉並区立荻窪小)

**佳作**

木村美友(広面小)

工藤七遥(泉小)

佐々木智也(東小)

吉松 郁さんの作品



平林真理さんの作品



## 包括外部監査の結果報告

総務課 ☎(866)2007



2月10日、平成22年度の包括外部監査を実施した澤田祐治・公認会計士(写真)から、結果報告がありました。包括外部監査は、市の財務事務が適正に行われているかを市の組織に属さない独立した立場の監査人がチェックするもので今年度は2つのテーマで行われました。市は監査対象になった団体とともに、報告された内容を項目ごとに十分検討し、適切に対処していきます。

**テーマ①** 道路・橋りょう等の維持管理・改良工事・財務管理に係る事務について

**監査結果(要点)**▼効果的・効率的な業務のため道路の点検マニュアルの作成や橋りょう点検の日報への記載、橋りょう台帳のデータベース化が必要▼橋りょうの点検結果は「長寿命化修繕計画」策定の基礎資料とするだけでなく、実際の維持管理に活用する必要がある

**テーマ②** 市が援助・出資している団体の出納等の事務と、秋田市民交流プラザ管理室の財務に関する事務について(市の行政改革、公益法人制度改革への取り組みの視点から)

**監査結果(要点)**▼(財)秋田市総合振興公社が公益財団法人となるためには、市が委託している事業の見直しが必要である▼市は(財)秋田市勤労者福祉振興協会が行っている秋田テルサの指定管理業務を非公募としている理由を再検討する必要がある▼(財)秋田市駐車場公社の業務は民間の駐車場に近く、第三セクターとして営利法人への転換も視野に入れるべき▼秋田市職員互助会は多額な正味財産を保有しており、市が互助会に運営費を補助する必要性に疑問がある▼御所野交流センターの指定管理者である(福)秋田けやき会は、基本協定に基づき、管理委託料の余剰分を返還すべき▼秋田市民交流プラザ管理室は、アルヴェ管理組合への負担金の妥当性について検討が必要である